



【林間学校 学年目標】

チームワークを深め、貴重な体験を思い出に残そう!!

5月14日（火）から16日（木）までの3日間、1年生の林間学校が行われました。前日の学年集会では、最終の連絡、説明を受けましたが、なんと、しおりを忘れていた人が20名もいて、学年の先生方から気を引き締めて行事に参加するよう”喝”が入りました。3日間という自分たちの時間をスケジュール通りに進めていくと共に、『プラスの時間』を生み出せるように協力することがキーワードとなりました。

入学してからわずか1ヶ月で迎える林間学校。この**3日間の価値の大きさ**に気づいた人がほとんどだったのではないのでしょうか？入学式、オリエンテーション、部活動への入部、クラス役員・係の決定、家庭訪問、そして、林間学校へ向けての係会の取り組みなどあわただしく過ぎてきました。小学校を卒業し、中学校での生活に慣れるのに必死だったと思います。しかし、この林間学校では、言われるがままについて行くだけでは中学生としての成長は期待できないので、真の中学生になるためには『自分たちの行事を自分たちでつくる』林間学校にしなくてはなりません。ひとりひとりの意識と力を合わせ、目標に向かって、協力することに全員で臨みました。

実行委員を中心に、この学年の生徒、先生全員が一体となって『中学校で初めての学年行事である、林間学校を成功させるぞ!!』と各委員会がしっかりと稼働したことで、小学生から中学生になることが出来ました。

○1日目（魚つかみ、8の字・大縄大会、餅つき）



鉢伏に向かう道中、どんよりしていた雲を心配していましたが、ハチ高原に到着してクラス写真を撮り、お弁当を食べる直前に、雨が降り出しました。宿舎でお弁当をとり、雨が弱まった隙間をぬって予定通り



魚（あまご）つかみを行いました。水はさすがに冷たかったものの魚を掴む熱気で大騒ぎでした。掴んだ魚は焚き火で焼いてくださり、美味しくいただきました。この後は、クラスの団結力、絆を高めるために、8の字・大縄大会に挑みました。どのクラスも試行錯誤して、いかに多く跳ぶことが出来るか作戦を練り、意見が飛び交っていました。

夜には、クラスごとに餅つきをしました。全員が交代しながら餅をつき、どのクラスからも大きなかけ声がリズム良く聞こえてきました。夕食の”すき焼き”をお腹いっぱい食べたはずなのに、つきたてのお餅をあっという間に平らげ、残ったきなこをいつまでも舐めていました。



○2日目（飯ごう炊さん、オリエンティング、キャンプファイヤーと学年レク）

新緑の美しいさわやかな天気恵まれました。朝食後、オリエンティングでの昼食となるお弁当づくりをしました。班ごとに、飯ごうでご飯を炊き、おにぎりを作るため、

火起こしから、火加減と大騒ぎでした。班で協力して作ったおにぎり「みやま荘」の方が用意してくださったおかずを弁当箱に詰め、片付けのチェックに合格した班から、約5時間のサマエーリングへと出発しました。



ハチ北の雄大な自然を堪能し、仲間のいいところをたくさん見つけて帰ってきました。出発前に配られた飴紙をスポーツドリンクと引き替え、「最高!!」ながら大の字に寝転がっている様子は、



宿舎にの包みと言いきりき

としての成長の証でもありました。

夕食までの入浴の時間では、臨機応変に活動したことでうまれた『プラスの時間』をたのしむこともできました。

夕食の豚鍋、べのラーメンをお腹いっぱい食べた後は、キャンプファイヤーと学年レクでした。山の神と養父郡キャラクターのハーフ、ヤップーから人間の生活を豊かにしてきた聖なる火を授かりました。これからの中学校生活で勉強・行事・部活など自分に打ち勝つ力、乗り越える力に繋げていくことを各クラスの風紀委員が代表で、約束しました。

そして、学年レクでも、風紀委員の企画進行で盛り上がりしました。オンとオフの切り替えが非常に美しく、学年の実力の高さやセンスが光る瞬間をたくさん共有できました。また、この3日間で誕生日を迎えた3名の仲間を全員でお祝いするというプライズもあり、

学年の粋な気遣いが心温まる時間となりました。



○3日目（勾玉づくり）

最終日も、素晴らしい天気にも恵まれて、飯ごう炊さん場で、勾玉づくりをしました。デザインから切り出し、そして、ひたすら磨いてデザイン通りの作品を作るために、もくもくと取り組んでいました。仲間のアドバイスをもらったり、自慢したりと楽しい時間になりました。作品を文化祭で展示することもあり、熱心に集中している姿はこの学年の秘めたエネルギーを感じました。

中学校生活の基礎が凝縮されたこの行事が、成功だったかどうかは卒業する時に決まります。ただ、この学年の”やる気””本気””元気”は素晴らしかったです。林間学校で身につけたことや気づいたこと、学んだことをこれからの学校生活に、おいに生かして、**仲間と共に成長**していきましょう。

5月31日（金）6校時 自転車交通安全教室（1年生全体授業）

伊丹警察、トラック協会、教育委員会のご協力のもと、『交通ルールを守り、自他の命を大切にする』をめあてに自転車交通安全教室がありました。自転車は車両のなかまであること、歩道は、13歳以上は原則通行できないこと、二人乗りや並進、夜間の無灯は危険であるとともに交通違反であることなどを学びました。そして、トラックの運転席に担任の先生に座ってもらって、いかに死角の多い乗り物かを確認しました。そして、車は、ブレーキをかけてもすぐに止まらないこと、内輪差があつて巻き込まれる位置があることなどを学びました。自転車は便利で使いやすい乗り物ですが、車両であり、被害者にも加害者にもなるおそれのある乗り物なので、交通ルールを守り、細心の注意と思いやりの心を持って安全運転を心がけてほしいとお話しがありました。

